



新鹿屋市誕生 記念式典を開催

5月21日、霧島ヶ丘公園で、新鹿屋市誕生記念式典が開催され、市内外から約600人が出席し、新市誕生を祝うとともに、さらなる飛躍を誓いました。

式典では、山下市長が「旧市町の地域資源や、県内で初めて設置した地域自治区の機能を最大限生かしながら新市の均衡ある発展に取り組みます」と式辞を述べ、次に、西園市議会議長が「市民が誇りを持つ鹿屋市を目指し、議会の責任を果たしていきたい」とあいさつしました。

そして、合併功労者として旧市町の首長と議長9人に総務大臣表彰、大隅中央合併協議会委員（旧市町の学識経験者等）33人に市長特別表彰が



未来へのメッセージを発表した
園内奈津子さん

それぞれ授与されました。

また、浜田小学校6年の園内奈津子さんが「今ある自然をもっと大切にして、鹿屋市の素晴らしいさをたくさんの人に広めたい」と未来へのメッセージを発表したほか、市花・市章・市旗が紹介されました。



伝統芸能

旧市町に伝わる踊りが披露されました。



八月踊り（吾平地区）



上平房棒踊り（輝北地区）



まかけ馬掛棒踊り（串良地区）



刀舞（鹿屋地区）



式典で素晴らしい演奏を披露した
鹿屋高校吹奏楽部

新鹿屋市の市花・市章・市旗が決まりました

市花や市章などを選定するため設置した鹿屋市慣行選定委員会（福永辰郎委員長）が、5月9日、市花を「ばら」、市章及び市旗は旧鹿屋市のものを継承することを決めました。

また、長年にわたり地域住民に親しまれていた旧市町の花は、「地域の花」として残すことになりました。

市花「ばら」



日本一広いかのやばら園のオープンや、地域が一体となって「ばらを活かしたまちづくり」に取り組んでいることなどから、地域ブランドとしての定着化や魅力あるまちとしての情報発信が期待できるとして決められました。

市章



カタカナの「カノヤ」の文字を図案化したものです。

市旗



大隅半島をデザインし、若さと澄んだ空、海を青色で表現。その中心に大隅の中核都市鹿屋を躍動のシンボルである赤い円で表現し、「カノヤ」を金色（黄色）で図案化したものです。

地域の花

